

令和6年度

公益社団法人 埼玉県医療社会事業協会

議 事 録

第4回 理事会

日時：令和6年7月2日（火）

場所：協会事務所＋オンライン会議（Zoom）

1 開催日時: 令和6年7月2日(火) 14:00~16:15

2 開催場所: 協会事務所、オンライン会議(Zoom) 併用

3 出席者: 理事14名、監事1名、幹事2名、顧問1名 計18名

出席: 杉山 明伸、大塚智秋(Zoom)、竹内潤子、東(竹野)みはる
山梨誠(Zoom)、平野朋美、橋村健司、千賀英昭(Zoom)、門岡高太郎
倉橋(松本)浩一(Zoom)、竹本耕造(Zoom)、長岡杏奈、高瀬紀子、飯田里美
(監事) 吉越千昭(Zoom)
(顧問) 堀口泰正(Zoom)
(幹事) 清水信貴(Zoom)、吉田穂菜美(Zoom)
欠席: (理事) 森田(近内)晴美

4 定足数確認(定足数8名)

理事 参加14名の出席で理事会は成立

5 役割分担

議長: 杉山明伸 書記: 平野朋美(理事) 吉田穂菜美(幹事)

議事録署名人: 杉山明伸 吉越千昭

6 代表理事より: 杉山会長

① 定時総会において定款改正が承認され、今年度から総会は年に一度の開催となった。その分、次年度の事業企画と予算は理事会でしっかり協議する必要がある。

② 予算案に基づいて定期預金を一部解約したが、貯えを切り崩して事業継続できるのは3年間である。見通しをたてて、進めていく必要がある。

7 報告事項、討議事項

1) 関係機関・関係団体主催会議の参加報告

① 第32回全国日本医療ソーシャルワーカー協会会長会: 松本理事

・6月10日(土)に大分県で開催された、標記の件について松本理事がZoomで参加し、その内容を報告した。詳細は、資料及び報告書参照。

・補足情報として、竹野事務局長より、次の情報提供があった。犯罪被害者等の支援充実のため、警視庁から各都道府県に「犯罪被害者援助センター」の開設を要請した。埼玉県でも、性被害に遭った方を対象としたホットライン(アイリスホットライン)を開設し、当協会にも周知の依頼が届いている。県内では、次の6カ所の医療機関が協力機関となっている。

→ 川口市立医療センター、越谷市立病院、さいたま赤十字病院、赤心堂病院、瀬戸病院、深谷赤十字病院。なお、このことに関する案内は、竹野事務局長からオープンチャットで会員に情報提供すると報告があった。

・次期大会は、2025年6月21日～22日に三重県で開催予定である。

② 埼玉県社会福祉士会通常総会：竹内副会長

・6月22日(土)に上記の総会が県民健康センターで開催され、竹内副会長が挨拶のため出席。本橋会長、田口事務局長、埼玉県福祉部社会福祉課長、埼玉県社会福祉協議会事務局長、埼玉県立精神医療センター療養援助部長から挨拶があったことが報告された。総会への出席者は以前に比べて大幅に減少した。これは、会員減少とコロナ禍の影響と考えられる。

2) 各部局からの報告

(1) 総務部：橋村部長

・資料に基づき橋村部長より、会員状況、令和6年度ブロック助成金、ブロック活動について報告された。6月28日現在の会員状況は、1号会員396名、2号会員5名、合計401名。不明会員は0名。

・令和6年度ブロック助成金については、会員数と均等割に基づき算出され、東部ブロック8万円、西部ブロック12万円、南部ブロック11万円、北部ブロック9万円、合計40万円となる。

・ブロック活動の詳細は、資料を参照のこと。補足情報として、杉山会長より、6月28日に開催された西部ブロックの若手会員の交流会の参加者は、ベテランのソーシャルワーカーが理事等で活動している3病院（埼玉医科大学グループ、霞ヶ関南病院グループ、石心会病院グループ）の若手職員12名だったと報告があった。

・定款改正に関しては、会長から理事定数など、今後も継続して検討すべき課題が残っていることが言及された。

(2) 研修部：門岡部長、松本理事

全体研修会、中堅研修会、新人研修会、専門研修会について、門岡部長、松本理事より報告があった。

① 全体研修会

・6月17日に開催された全体研修会には、会場参加66名、オンデマンド配信視聴116回。オープンチャットから視聴した方が1番多かった（本日時点、清水ICT部門長補足）。参加者アンケートの結果、満足度は高く、講師を務めた後藤先生からも好評を得られた。

・反省点として、定款改正に伴う総会延長により準備時間が不足し、講師の飲み物の準備が間に合わなかったことが挙げられた。

② 中堅研修会

・7月19日(金)18:30からZoomで開催予定である。現在までに65名の申し込みがあり、うち非会員は4名であることが報告された。定員は100名であるため、引き続き参加者を募集する。

・7月12日頃に講師から資料が届き、3日前と当日にリマインドメールを送信する。オンデマンド配信は、開催後約1週間後から8月末までを予定している。研修時間は60分の講義と30分の質疑応答予定。

③ 新人研修会

・今年度は9月、10月、11月の土曜日の午後に全3回開催予定であることが報告された。9月は、昨年度作成した各部局紹介動画を視聴した後、杉山会長による講演を予定している。会場費削減のため、オンラインでの開催を検討している。9月開催の研修会について、杉山会長より開催日を9月7日(土)にすることが提案され、承認された。

・10月は、榊原氏と城澤氏に講師を依頼し、10月12日(土)午後にオンラインで開催することが決定した。

・11月は、事例検討をテーマに対面で開催予定である。11月9日(土)午後に開催予定。会場は費用面を考慮して今後決定する。

④ 専門研修会

・松本理事より、今年度も平野理事らが主催する「ソーシャルワーク実践について考える会」と連携し、神戸学院大学の宮崎清江先生を講師に迎えて開催することが提案された。開催時期は、1月または2月頃を予定している。

・加えて、平野理事より、実行委員会形式での運営が提案された。実行委員会には、広く会員から参加者を募り、宮崎先生との事前打ち合わせ、当日の運営、広報活動などについて、研修部と連携しながら進めていきたいとの考えが示された。

⑤ その他

・最後に、松本理事より7月26日(金)18:30から開催される「ソーシャルワーク実践について考える会」の勉強会で、スーパービジョンに関する研修を行うことが案内された。

(3) 社会活動部

・社会活動部ミーティングでの検討内容について、長岡理事より報告。6月28日に開催された社会活動部会には、近内部長、長岡理事、宮田幹事、渡辺新幹事、竹本理事、平理理事が参加したことが報告された。概要は、概ね次の通りである。

・ミーティングでは、社会活動部の事業をすすめるにあたり、メンバーが次のような課題を持ち寄った事が報告された。①他団体の社会活動事例調査、②家族会との連携、③イベントへのブース出展。

・加えて、今年度実施したい内容として、①会員に向けたアンケートの実施、②事務局と共催で、被災地支援に行った会員の経験を共有する研修。なお、アンケートに関しては、次のような質問と意見が出された。

i 実施目的について、社会活動部は会員に何を求めているのか。

ii ブロック研修との関係を、どうとらえるのか。

iii 社会活動部とブロック活動、研修部との連携を強化し、会員のニーズを総合的に捉え、協会全体の活動に反映していくことが重要である。

iv 会員アンケートをとるのであれば、会員は主体的に何をしたいのかを把握できる内容であれば意味があるのではないか。

・オブザーバーの平野理事からは「会員アンケートは、会員が社会活動やソーシャルアクションをどのように捉えているか、実践上の課題やニーズを把握することを目的としており、ブロック活動に限らず広く会員の声を聞き取りたいと思うが、部内ではまだ煮詰まっていない」と補足説明があった。

・長岡理事より、社会活動部の情報共有や日程調整に、Google Workspaceを積極的に活用したいと報告があった。

(4) 財務部

① 財務状況報告：高瀬財務部長

・会費納入状況は良好であり、306名から納入されていることが報告された。未納者は90名（北部15名・東部9名・西部18名・南部48名）であるが、うち未納通知対象者は45名である。

・定期預金を一部解約した結果、現在、定期預金残高は300万円、ゆうちょ銀行の残高は200万円弱、埼玉りそな銀行の残高は約300万円であることが報告された。

② クレジットカード作成状況について：飯田理事

- ・当初予定していた三井住友銀行のビジネスカードではなく、ビジネス・パーチェシング・カード（カード不発行）に変更することが提案された。これは、会長変更時の手続きが簡素化されるためである。年会費は無料。

- ・カード使用者名義について、当初は会長名義で申請する予定であったが、実際には会長がカードを使用することはない。

- ・杉山会長より、カード使用者名義は法人名義で問題ないとの見解が示された。

- ・飯田理事より、法人名義と財務部名義で申請を試みることで、資本金の記載については定期預金解約金 250 万円を資本金として計上することが報告された。

(5) 事務局

① 内閣府電子申請報告：竹野事務局長

- ・6月26日行政書士の並木氏に確認していただき、翌日電子申請完了。定款変更申請も完了。

② 他機関からの要請事項：竹野事務局長

i さいたま市成年後見利用促進に関わる地域連携ネットワーク協議会

- ・8月に開催される協議会のオブザーバーとして、協会から委員を推薦してほしい、当日は30分程度医療現場における事例について話をしてほしいとの要請があった。事務局からは、以前よりこの協議会の準備会に参加していた南部ブロックのブロック長塚田幹事を推薦することが提案された。

- ・大塚副会長より、塚田幹事が実際以前参加していたのはこの協議会ではない。

→当協会としては、塚田幹事をオブザーバーとして推薦することで承認された。

ii 公的扶助研究全国セミナー後援依頼

- ・11月に新座市で開催される公的扶助研究全国セミナーにおいて、協会として後援名義使用の許可をいただきたいとの依頼。杉山会長より、全国公的扶助研究会は歴史ある団体であり、後援を引き受けることに意義があるとの見解が示された。

- ・平野理事より、全国公的扶助研究会は福祉事務所のケースワーカーを中心に構成されており、長年機関誌を発行したり、講演会を開催したりするなど精力的に活動している団体であることが補足された。

→理事会として、後援依頼を受諾することが承認された。

iii 理学療法士学会後援依頼

- ・ 毎年恒例の依頼であり、来年も後援を行ってほしいとの依頼。

→理事会で承認された。

③ 今後の協会運営あり方検討委員会報告：竹野事務局長（別紙資料）

- ・ 第3回委員会議事録に基づき、事務局長より次の内容について報告。
- ・ 令和5年度の事業報告を早急に事務局へ提出してほしい。後日、平野理事が作成した資料に基づき、事務局から個別に提出を依頼する。
- ・ 保管する資料の項目を示したひな型を提示した。
- ・ 資料の提出はLINEWORKSでも可。令和5年度までには原則紙ベースで保管するが、提出はデータでも良い。

④ 物品購入について：竹野事務局長

- ・ 事務局で使用しているパソコンが故障寸前であり、早急に新しいパソコンを購入する必要があることが報告された。清水ICT部門長より、コスト面も考慮して以下の物品購入とシステムに関して説明と提案があった。

- i パソコン: ノートパソコン(約14万円)とモニターを別途購入する。
 - ii スキャナー: 紙資料をデジタル化するために購入する。
 - iii 電話: 固定電話は廃止し、スマートフォンを導入する。データ通信は、月額料金が安いPOVOなどを利用する。
 - iv データベース: 現在のKintoneは値上げされるため、Google Workspaceを無料で活用する。
 - v ホームページ: 現在のホームページはスマートフォン対応していないため、新たに作成する。その際、URLの引継ぎが高額になる場合は、新しいURLで立ち上げる。
- ・ 平野監事より、物品管理要綱案が提案された。要綱案では、1件10万円以上の物品購入は理事会承認、10万円未満は財務部長承認とすること、複数見積もりを取得すること、備品台帳を作成すること等を定めている。また、事務所の引っ越しの件も以前のあり方検討会で議題に挙がっており、今後検討していく。
 - ・ これに対し、高瀬財務部長より、立ち入り検査では、見積もりをとって購入しているか、備品について台帳管理することを指摘された。ICT関連の物品に関しては、今後必要な投資と考えるので、見積もりをとって購入する方向で良いと思うと発言があった。
 - ・ 杉山会長より、物品管理に関する規定は、次回理事会において決議を採りたいと発言があり、次回に繰り越された。

⑤その他

- ・オープンチャット参加数88名。今月中に100名目標。
- ・GoogleWorkSpace勉強会、事務局・研修部実施済み。次回は社会活動部に向けて勉強会を実施予定。
- ・理事会の資料は、今後GoogleWorkSpaceの理事会共有フォルダに入れ、理事が簡単にアクセスできるよう検討している。

8 その他

- ・新人研修会第一回(9月7日(土)開催)には、部長、ブロック長が参加することとした。総務部から各ブロック長へ改めて連絡を行う。

9 次回理事会の開催について

- ・次回理事会は令和6年9月3日(火)14:00から開催する。
- ・各部局で緊急を要する事態が発生した場合は、必要に応じてメール審議または緊急オンライン理事会を開催することとした。

以上を以て議案等の審議を終了し、16:15議長より閉会を宣し、解散した。

上記は理事会議事録に相違ないことを証明する。

令和6年 月 日

議事録署名人（代表理事）

議事録署名人（監事）